



(表面から続く)

市が描いた焼却炉の煙突を隠すための盛り土は、**ス参照**は国の補助を得られない可能性も高い上、七条地区は「浸水想定区域」でもあり、地盤への杭打ちなど、多額の費用が掛かる可能性も次々と明らかになっていきます。

私は、財政が厳しい中で問題や課題は山積し「無理無駄」をしてまで七条地区でクリーンセンター建設を推し進めるのは、市民の理解が得られないと、市に強く再考を求めています。



市の経費削減

指定管理団体へ厳しい運営

奈良市は経費削減などを目的に公共施設の運営・管理を民間などに委託する「指定管理者制度」を導入しています。今年度末に▼音声館▼名勝大乗院庭園文化館▼北人権文化センター▼総合福祉センター▼奈良町南観光駐車場への5施設が指定管理の満了になります。

指定管理者の選定は、議案として議会に提案され、その議決を持って最終決定されることになりました。これまで市は市議会12月定例会にこれらの議案を提出していましたが、今回公募しない施設を除き、総合福祉センター**写真II**と音声館は3月定例会に指定管理の議案を提出する意向で、私はこの市のスケジュールでは新年度からスムーズな移行ができない懸念があると指摘。2館の選定については、

令和7年度の新年度予算編成

財源不足の懸念を指摘

奈良市は現在、令和7年度の新年度予算を編成しています。総務省自治財務局は昨年12月、地方財政対策のポイントと概要を示し、この中で新年度は「臨時財政対策債」を新規に発行しないことが明記されました。

この「臨時財政対策債」は、地方自治体が国から交付される地方交付税の財源不足分を補うためのもので、今年度、奈良市は9億8950万円あったものがゼロになります。

私は市の財政状況が悪い中、臨時財政対策債がなくなることの財源不足に陥ることはないかと総務委員会でただし、市は「地方交付税、臨時財政対策債を合わせた額が減少になることも想定される中、地方税は総額になると見込まれている。これを踏まえ、歳入(収入)を見通していきたい」と回答がありました。

私は「国の動向をしっかりと分析、把握し、市の予算編成、財政運営を進めるように」と求めました。

奈良市の外郭団体がこれまで管理してきましたが、市の経費削減の方針を受けて団体は、厳しい対応を迫られているとも聞いています。議案が万一、議会でノ

ーとなった場合、休館しなければならぬなど、市民生活に影響が出ることも容易に推察される中、市の準備やスケジュールの改善を強く求めました。

市役所駐車場改修し無人へ

シルバー人材センターへの委託料減

市役所駐車場は現在、市が改修の工事**写真II**を行っています。これまでは、シルバー人材センターに管理の業務委託を行い、来庁者に駐車券を手渡していましたが、改修後は車のナンバープレートカメラで認証する方式へと変更され、

3月1日から開始される予定です。私は総務委員会でこの駐車場の変更による経費削減やメリット、デメリットについてただしました。変更する理由については、市役所南側広場の整備工事を行ったことで駐車



車場出入口を一つに集約、休日や夜間に婚姻届などで来庁される方々へ24時間対応できるように変更し、セキュリティ面でも利用状況を把握するためとしています。

メリットはこれまで車両の台数や駐車時間を手作業で入力していたが、カメラ認証に変更することでデータ管理が可能に。一方デメリットについては、無人にできる費用はシルバー人材センターへの年間525万円の委託料になります。

私は、市の外郭団体のシルバー人材センターの収入減少は、会員の皆さんの不安要素につながる。業務量の検討なく外郭団体への厳しい対応は、議論していくべきだと指摘しました。